

長
村
組

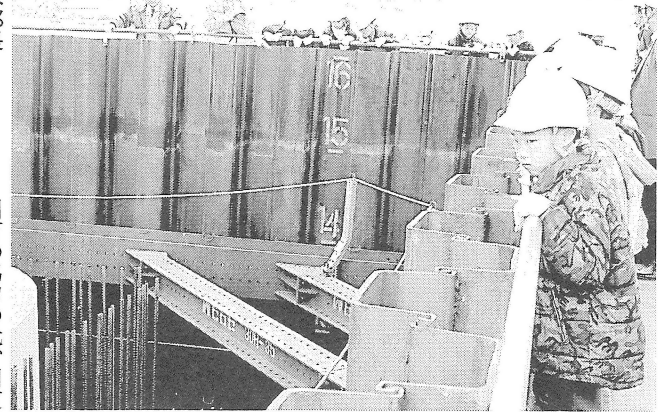
地元小学生に建設業をPR

泉大橋耐震補強工事の見学会

本園土木部長



(株)長村組（北中孝幸代表取締役社長）は14日、近畿地整京都国道事務所と本津



現場見学の様子

川市の協力の元、国道24号

泉大橋下部耐震補強工事現場見学会（本津川市山城町上粕）を開催。同市上粕小学校の4年生ら25人が参加し、建設業の魅力をアピールするとともに、地元のパンドマークとなる橋脚の耐震整備への関心を深めた。

長村組の本園廣美土木部長が「めったに入れない現場。足元に注意し、仕事の規模の大きさなど建設業に興味をもってほしい」と挨拶した。

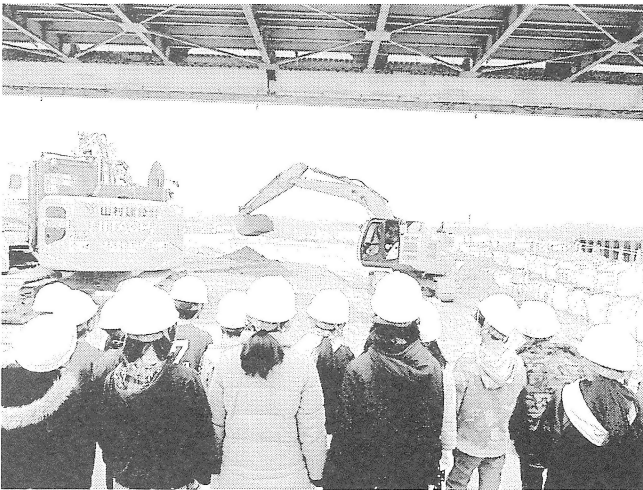
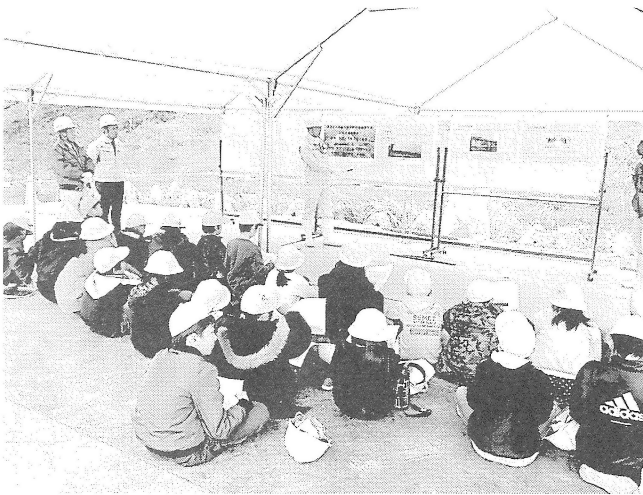
藤原貴亮現場所長は完成

後68年が経過する泉大橋の歴史と地震への備えとしての工事の重要性についてわかりやすく語った。

ガイダンス後、橋脚下部現場に移動し、鉄筋と型枠で補強する下部工のスケール感を実感。児童は型枠の工程や運搬方法などを質問した。建設機械（バックホウ）の操作も見学し、明日からミキサー車40台分のコンクリートを流し込む話に驚いていた。

見学後、ドローンによる記念写真（航空写真）を撮影。質疑応答でも橋脚の形状や土嚢の役割などについて積極的に質問していた。

本工事は、近畿地方整備局が週休2日化を促進する試行工事で、工期は31年7月16日まで。



建設機械を見学



ドローンで記念撮影